

情報公開

研究課題名	出雲地域における ESBL 産生菌の遺伝子解析						
試料・情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	<p>基質特異性拡張型 β-ラクタマーゼ (extended spectrum beta lactamase; ESBL) 産生菌は、薬剤耐性菌の一つで、近年国内外で急速に増加し問題となっている。島根県内、特に出雲地域においても、2016 年頃より ESBL 産生大腸菌の分離率が急増していると報告されている。そこで本研究において、ESBL 産生菌の増加・拡散を防止するために、ESBL 産生菌の遺伝子型解析やタイピング解析を行い、出雲地域で急増する ESBL 産生菌の特徴を明らかにすることとした。</p> <p>調査期間(2017 年 8 月～12 月)に当該医療機関(島根県立中央病院及び島根大学医学部附属病院)の検査により ESBL 産生菌が分離された者を対象とした。ただし、菌株収集は各医療機関につき 100 株に達するまでとした。(研究期間:2017 年 4 月～2019 年 3 月)</p> <p>各医療機関で得られた該当菌株及び対象者の情報は、島根県保健環境科学研究所に提供され、本研究に利用される。</p>						
利用し、又は提供する試料・情報の項目	<ul style="list-style-type: none"> ● 対象者の個人情報等(年齢, 性別, 外来または入院, 検査材料, 検査材料採取日) ● 該当菌株とその情報(検出日, 菌名) 						
利用する者の範囲	<p>当該研究は、下記の機関で実施される。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">研究代表者</td> <td>島根県保健環境科学研究所(細菌科)福間藍子</td> </tr> <tr> <td>共同研究者</td> <td>島根県保健環境科学研究所(細菌科)川瀬 遵 村上佳子 酒井智健 小谷麻祐子 角森ヨシエ(現所属 県央保健所) 林芙海(現所属 雲南保健所)</td> </tr> <tr> <td>共同研究機関 (試料提供元)</td> <td>島根県立中央病院(検査室)領家敬子 和久利美帆 島根大学医学部附属病院(検査部)馬庭恭平</td> </tr> </table> <p>調査期間(2017 年 8 月～12 月)に当該医療機関(島根県立中央病院及び島根大学医学部附属病院)の検査により ESBL 産生菌が分離された者を対象とする。ただし、菌株収集は各医療機関につき 100 株に達するまでとする。</p>	研究代表者	島根県保健環境科学研究所(細菌科)福間藍子	共同研究者	島根県保健環境科学研究所(細菌科)川瀬 遵 村上佳子 酒井智健 小谷麻祐子 角森ヨシエ(現所属 県央保健所) 林芙海(現所属 雲南保健所)	共同研究機関 (試料提供元)	島根県立中央病院(検査室)領家敬子 和久利美帆 島根大学医学部附属病院(検査部)馬庭恭平
研究代表者	島根県保健環境科学研究所(細菌科)福間藍子						
共同研究者	島根県保健環境科学研究所(細菌科)川瀬 遵 村上佳子 酒井智健 小谷麻祐子 角森ヨシエ(現所属 県央保健所) 林芙海(現所属 雲南保健所)						
共同研究機関 (試料提供元)	島根県立中央病院(検査室)領家敬子 和久利美帆 島根大学医学部附属病院(検査部)馬庭恭平						
試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	研究代表者 島根県保健環境科学研究所(細菌科)福間藍子						
試料・情報の授受の方法	提供元機関から提供先機関への情報の授受は、情報が記載されたファイルをパスワード設定するなど第三者が閲覧できないように留意して授受、管理する。						
試料(検体)・情報の利用停止	<p>ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。</p> <p>なお、利用停止のお申し出は、2019 年 3 月までに島根県保健環境科学研究所へお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。</p>						
連絡先	<p>島根県保健環境科学研究所 福間藍子</p> <p>〒690-0122 島根県松江市西浜佐陀町 582-1</p> <p>電話 0852-36-8181 FAX 0852-36-8171</p>						